

平成二十二年第十四回

荒川区教育委員会定例会

平成二十二年七月二十三日
於）荒川区役所特別会議室

荒川区教育委員会

平成二十二年荒川区教育委員会第十四回定例会

一 日 時 平成二十二年七月二十三日 午後一時三十分

二 場 所 特別会議室

三 出席委員 委員長職務代理者 高野照夫

委員 小林敦子

委員 青山侑弘

教育長 川寄祐弘

教育総務部長 新井基司

教育施設課長 入野隆二

学務課長 樋口隆之

社会教育課長 三枝直樹

社会体育課長 佐藤泰祥

指導室長 鈴木清文

南千住図書館長

五

案 件

(一) 審議事項

議案第二十九号

平成二十三年度から使用する小学校教科用図書の採択について

議案第三十号

平成二十三年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について

(二) その他

				指 導	指 導	指 導	指 導	統 括 指 導	統 括 指 導
				主 事	主 事	主 事	主 事	主 事	主 事
書 記	書 記	書 記							

湯 田 道 徳	浅 沼 佳 子	大 谷 実	堀 越 勉	菅 原 千 保 子	佐 藤 友 信	飯 田 秀 男	新 井 裕	平 田 英 司
---------	---------	-------	-------	-----------	---------	---------	-------	---------

委員長

ただいまから荒川区教育委員会第十四回定例会を開催いたします。

出席委員の先生方のご報告を申し上げます。五名出席でございます。

会議録の署名委員は、小林委員及び青山委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

教育長、ごあいさつをお願いいたします。

教育長

平成二十三年度から使用する教科書採択についての審議をよろしくお願いいたします。
以上です。

委員長

ありがとうございます。

それでは、本日の議事日程に従いまして議事を進めます。

議案が二件ございます。

本日の教育委員会は、小学校で使用します教科用図書と小・中学校に設置している特別支援学級で使用する一般図書の採択を行います。

教科用の図書選択の議案審議につきましては、前回の委員会でお諮りした結果、各委員の忌憚のないご意見をいただく場を確保するというところで、非公開となりましたので、よろしくお願いいたします。

なお、審議の公正性、透明性を確保するため、会議録につきましては、通常どおり、発言者の名前も入れて作成し、会議録の整理ができた時点で公開すること、審議に使用した資料につきましても公開することとしたいと思います。

お諮りします。異議ございませんでしょうか。

(委員一同 ――― 異議なし)

委員長

それでは、そのようにさせていただきます。

続いて、本日の会議の進め方です。

初めに、議案第二十九号の「平成二十三年度から使用する小学校教科用図書の採択について」の審議に先立って、この間の教科用図書選定調査会の調査経過や教科書展示の状況等につきまして事務局より報告をいただきます。その後、議案の説明に入りますが、審議に際しては、その冒頭に、選定調査会による調査内容を教科別・種目別に報告していただいた上で、具体的に審議に入るという方法をとりたいと存じます。

また、審議に際しましては、指導主事の出席を求め、必要に応じて話を聞き、参考にしたいと思えます。

以上のように取り扱うことについて、よろしいですか。

(委員一同 ――― 異議なし)

委員長

ありがとうございます。

皆さんの同意が得られましたので、そのように取り扱うことにいたします。

それでは、事務局より、教科用図書選定調査会の調査経過や教科書展示の状況につきまして報告をお願いいたします。

では、指導室長、お願いいたします。

指導室長

それでは、調査の経過についてご報告を申し上げます。

平成十七年度荒川区教科用図書採択要綱に基づきまして、今年度の教科用図書に関する調査研究を行うため、学識経験者、それから地域関係者、学校関係者及び保護者の計八名で構成された教科用図書選定調査会を六月二十九日に発足させまして、以来、二回の調査協議の中で熱心に、精力的に協議を行っていただきました。その調査結果につきまして、本日七月二十三日、調査研究報告書として提出をしていただきましたので、その内容についてご報告を申し上げます。

選定調査会では、調査に当たりまして、二点目標を定めて調査を行いました。一点目としては、本区の教科用図書採択要綱に示されております基本方針に基づき、教科用図書に記述された内容の特徴について調査をするということであります。それから二点目につきましては、教科用図書の調査に当たっては、荒川区の子どもたちへの願いにこたえる。つまり、荒川区の小学校教育にふさわしい内容であるか。とりわけ、学ぶ立場である子ども視点と、使用して指導する立場である教師の視点を重視して、より具体的な検討を行うということの二点で調査研究を行いました。

次に、調査研究の方法でございますが、選定調査会は各教科で専門性の高い本区の校長、教諭等に委嘱をしまして、各教科専門部会を設置いたしました。専門部会では、学習指導要領との適合性など、専門的な事項について具体的な検討をし、その結果を選定調査会に報告いたしました。さらに、区民の皆様、各学校の教員等に直接教科書を見ていただくということ、教科書への関心を高めていただくということ、また、たくさんのご意見をいただくということで、教科書見本展示会を行いました。六月四日から六月十七日に都教育委員会で定めている特別展示、それから六月十八日から七月七日までの十四日間は法定展示会ということで、約一カ月、生涯学習センター、

荒川区教育センターの中で展示会を開催いたしました。閲覧者の総数でございますが、合計で七十六名。その中でアンケートとしてご意見をいただいた方は二十四名でございます。このアンケートにつきましては、選定調査会でも参考といたしましたですが、委員の皆様にも事前に送付をさせていただいたところでございます。よろしくお願いいたします。

選定調査の結果はお手元の報告書にございます。報告書作成に当たりましては、各教科ごとに教科用図書の特徴を中心にまとめられたものであります。以上、経過をご報告させていただきました。

委員長

ありがとうございます。

ただいま調査経過や教科書展示の状況につきましてご報告がございました。質問ございますでしょうか。

(委員一同 ―――― 質疑なし)

委員長

なければ、議案の審議に入ります。

議案第二十九号「平成二十三年度から使用する小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局より議案の説明をお願いいたします。

指導室長

それではまず、教科用図書の選定調査についてご報告いたします。

本調査会は、平成二十二年六月二十九日、教育委員会より、平成二十三年度に区立小学校で使

用する教科用図書について、教育委員会が最終的に採択するに当たったの資料とするため、各教科用図書の特徴等を調査研究するように依頼を受けました。

今回採択の対象となる教科用図書は、子どもたちに「確かな学力」を身につけていくことを目指し、平成二十年三月に改訂された学習指導要領に基づいて編成されたものであり、新たな視点から学校教育の発展を目指す上で、大変重要な役割を担っていると考えているところです。

この基本認識のもとに、荒川区立学校教科用図書採択要綱に定める基本方針に基づき、具体的な調査研究を進め、調査研究報告書に調査結果をまとめたものであります。

調査研究の結果につきましては、各教科・種目ごとに、教科用図書のそれぞれの特徴を記すとともに、全体に対する意見を記載いたしました。

それぞれの教科についての調査結果の詳細は、お手元の報告書にあるものでございます。教育委員会におかれまして、本調査研究報告を参考とし、本区の学校教育発展の一助としていただくことを望むところであります。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

ただいまのご説明にありましたように、採択の対象は、九教科十一種目とあります。議案書の記載の順に審議・採択を行い、決定していきたいと思っております。

審議・採択の方法は、種目ごとに事務局より調査内容の報告を受けた後に、各委員より各社の教科用図書に対する意見や候補とすべき図書の推薦などをご審議いただき、大方の方向を得た段階で採択を行います。

複数の推薦がある場合などは、議案に記載されている発行者の順に一つ一つお諮りして、その発行者の図書がふさわしいと判断される委員に挙手していただくという形で採択したいと考えております。

本日の出席委員が五名ですので、過半数の三票を獲得した発行者の図書が採択となります。なお、可非同数の場合には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第十三条の規定により、委員長である私が決することになりますので、よろしくお願いいたします。

いかがでしょうか。

(委員一同　————— 異議なし)

委員長

ありがとうございます。

皆さんの同意が得られましたので、そのように取り扱うことにいたします。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第十三条第五項の規定により、自己、配偶者もしくは三親等以内の親族の従事する業務に直接の利害関係のある事件につきましては、その議事に参与することができませんので、よろしくお願いいたします。

それでは、順に、教科・「国語」、種目・「国語」から審議・採択いたします。

青山委員

国語と書写につきましては、私は、発行者のうちの一家から近年、著作を出版しておりますので、大変恐縮ですが、国語と書写の選定は辞退をさせていただきますと思います。この間、退席をさせていただきますと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長

青山委員の意見でございます。

皆様、よろしいですか。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

では、よろしくお願いします。

(青山委員退席)

委員長

それでは、事務局より国語について説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「国語」、種目・「国語」について説明をさせていただきます。

お手元の調査研究報告書をめくっていただいて、二ページからご説明をいたします。

なお、この報告書について少し説明させていただきますと、左に「発行者」、右に「調査のまとめ」。教科・「国語」、種目・「国語」では、全部で五社の発行者がございます。そして最後に「全体に関する意見」ということで調査委員会のほうから意見の集約をしているところであります。では、ご説明いたします。

まず、国語につきましては、一つ目は基礎的、基本的な事項が充実していること、二つ目に日本の伝統的な文化をきちんと子どもたちに伝えていけるものかということ。それから本区の特徴であります、荒川区学校図書館の活用等に重点化をしているというところなので審議、研究がなされました。

説明の仕方でございますが、各発行者順に調査のまとめを五つの観点、〈内容〉〈表現〉〈構成〉

〈地域性〉、最後に〈使用上の便宜〉ということでもまとめていただきましたので、その内容で説明をいたします。

東京書籍。〈内容〉日本の文化に親しむための教材を掲載している。高学年の文字が若干小さめとなっている。〈表現〉「ごんぎつね」は黒井健氏の挿絵が親しみやすい。古典教材が豊富に掲載されている。〈構成〉付録に図書資料・図書館案内等を掲載しているが、単元ごとの読書案内が乏しい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉各学年とも上下巻構成となっている。表紙が薄く、折れやすい装丁になっている。

学校図書です。〈内容〉絵や写真が多い。名文を掲載している。現代の言語生活に対応する内容を掲載している。〈表現〉「大きなかぶ」は旧来の作品と同じ内容であり、佐藤忠良氏の挿絵が親しみやすい。〈構成〉巻末に資料編がある。図書館案内や読み物の紹介や保護者欄がある。単元ごとの広がりを持たせるための読書案内が乏しい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉各学年とも上下巻構成となっている。

三省堂です。〈内容〉単元の始まりに学習のポイント、学びを広げるコーナーがある。書く力や発表する力を高める工夫がある。〈表現〉「大きなかぶ」の絵は原作に準じており、黄色いかぶとなっている。〈構成〉推薦図書数は豊富である。単元ごとに推薦図書を掲載している。すべてに「あまんさんのへや」として、図書を薦めている。〈地域性〉荒川区近隣を示す教材を取り入れている。〈使用上の便宜〉二年生以上は上下合冊である。別冊では、自学自習を図り、図書館利用・言語事項等、学びを広げる工夫がある。

教育出版。〈内容〉日本の文化に親しむ内容がある。コンピュータに関する記述がある。〈表現〉「大きなかぶ」は、佐藤忠良氏の挿絵が親しみやすい。高学年の教材は社会科との横断的な学習

ができる。(構成)読むこと、書くことの機能が明確である。読みたい本、お勧めの本のコーナーがある。單元ごとに図書を掲載している。(地域性)荒川区近隣を示す教材を取り入れている。東京消防庁との体験学習も示している。(使用上の便宜)表紙の絵が親しみやすい。全学年を通して、いわさきちひろ氏の表紙で統一されている。全学年上下巻構成。

光村図書出版。(内容)文章が多い。道徳的な要素が強い(一年「わけを話そう」等)。一年生の初めから文字を出してほしい。(表現)「大きなかぶ」は挿絵を原作に準じている。「大造じいさんとガン」では作者の前置きから始め、想像性をかき立てる。(構成)單元ごとに推薦図書を示しており、豊富な図書資料及び図書館利用の方法等を掲載している。(地域性)「夕やけこやけ」の題材を用いて討論会を行ったり、新聞を読み話し合う教材では「北島康介」の記事を掲載している。(使用上の便宜)五・六年生は合冊となっている。高学年は分冊のほうが児童の興味関心を高めやすい。

全体に関する意見でございます。三点ございます。一点目、荒川区は学校図書館に重点化して指導しているため、図書館を生かした学び方や推薦図書を豊富に扱ったものが好ましい。二点目、活用・習得の力を育成する教材と、児童の想像力を高める挿絵等を含めた作品が掲載されているものが好ましい。三点目として、新たな古典を含め、他教科との関連性があり、児童にとって親しみやすい教材が好ましい。以上、説明でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「国語」、種目・「国語」についての説明がございました。

ご審議をお願いいたします。

高田委員

どこの教科書もみんなすばらしいのですけれども、国語というのは、日本語の基本中の基本ですから、しっかり学んでもらいたいと思います。学校図書館を生かすための推薦図書を扱っているという点では、三省堂の教科書に「学びを広げる」というコーナーで「小さな図書館」というのがありまして、それに適しているのではないかなというのと、それから一年生の国語のところ、「ノート書き方」というのがあって、ノートに文字をしっかりと書くというのが基本ですから、三省堂の教科書がいいのではないかなというふうに思いました。

委員長

ありがとうございます。

そのほか。

小林委員

各社とも非常にいろいろな工夫がされていてすばらしいなと思いました。ただ、比較検討をして総合的に考えると、三省堂のものがよいように思われました。

根拠なのですが、まず第一に、文学的で美しい文章が多いということが指摘できるところです。東京都教育委員会の調査報告書においても、文学的な文章が他社と比べて多いという調査結果があります。

それと、二点目なのですが、聞く・話すということを重視しておりまして、この点に関しましても、東京都教育委員会の調査において、他社よりも比率が高いという指摘がされております。具体的に教科書の内容を見ても、聞く・話すということが学年ごとに系統的に盛り込まれている

という点が指摘できるというふうに思っております。

第三点目なのですが、推薦図書の数さという点でも、これは三省堂のものが他社よりも目立って多いという点から、いいのではないのでしょうか。三省堂の教科書は少し重いという点が気になるのですが、総合的に考えて三省堂のものがよいというふうに私は考えております。

委員長

ありがとうございます。

僕は、教育出版がいいと思ったのです。といいますのは、小林委員に引き続いて、推薦図書が七十幾つと多いのです。そして、学び方がわかる、考える力を向上させる、句読点が明らかである、これらのことがいいかなと思つた次第です。

一方、今お二人の委員が推薦しますように、単元ごと推薦図書がある、そしてそれが極めて多い。そして、先生方がご指摘したように、書く力や発表する力を高める工夫がある。国語というのはそこが基本だと思いますので、私は三省堂がベストというふうに結論を出した次第です。

教育長

私は、学校図書と教育出版がすばらしいと思います。特に教育出版はいわさきちひろさんの表紙で統一されて、全学年を通して親しみやすいというのがありました。でも、荒川区では、一億六千万円も使つて、学校図書の充実というのを荒川区独自のものでやっています。そういう中で、学力向上調査の分析結果を見ますと、自学自習する力が荒川区はすごく弱い。そういう意味では、自学自習を図り、図書館の利用をしながら、学びを広げる工夫があるという三省堂がいいのではないかなということを感じています。

以上です。

委員長

わかりました。

四人出席で、発言していただいた四人全員の方から最終的に三省堂とのご意見ですが、一応、挙手で確認をいたします。三省堂がよいと思われる方、挙手をお願いします。

(四名挙手)

委員長

挙手で確認したところ、四名全員三省堂とのことです。異議ないですね。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

では、教科・「国語」、種目・「国語」につきましては、四票の結果で三省堂の教科用図書を採択することに決定します。

では、国語について終わります。

続いて、教科・「国語」、種目・「書写」を審議・採択いたします。

指導室長より「書写」について説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「国語」、種目・「書写」、三ページについてご説明いたします。

全部で六社ございます。

東京書籍。(内容)六年生の教科書に、アルファベットも載っていてよい。(表現)単元名がわかりやすく、付録に「筆」「和紙」「すずり」「墨の書き方」等が示されており、興味が持てる。(構成)三年生からの毛筆では、筆の持ち方や扱い方等を細かく説明する構成になっていてよい。(地

域性）特に地域性は無い。〈使用上の便宜〉低学年の巻末にシールがついており、各教材の評価欄に張って楽しく学習を振り返られる工夫がある。

学校図書。〈内容〉文章中の漢字にも書き順が丁寧に載っていて、筆博士というキャラクターが出てきてポイントを説明してわかりやすい。〈表現〉写真とイラストが豊富に掲載されていてよい。〈構成〉「かご書き」「ほね書き」を利用しやすい構成になっている。〈地域性〉特に地域性は無い。〈使用上の便宜〉キャラクターを利用して、児童の立場から疑問や気づきを促す工夫がある。

三省堂。〈内容〉手紙やはがき等、低学年から系統的に扱うように工夫されている。コミュニケーション活動を重視した構成になっている。〈表現〉全体的にシンプルに表現されているが、四年生は見本に書き順が少なく、わかりづらいと感じた。〈構成〉さまざまな用紙に応じて書くということ、生活全般にかかわる書き方ができるのですぐれている。〈地域性〉特に地域性は無い。〈使用上の便宜〉やや色使いが少ないような印象を持った。

教育出版。〈内容〉毛筆で学習したことを硬筆で書いて確かめることによって、学習の内容の定着を図るように工夫されている。〈表現〉書く姿勢や鉛筆の持ち方などが丁寧に書いてあり、すぐれていると感じた。〈構成〉どの学年も内容がよくまとまっており、単元構成がわかりやすい。〈地域性〉特に地域性は無い。〈使用上の便宜〉コーティング加工により、水や墨の汚れに強い。

光村図書出版。〈内容〉一年生では片仮名を重視し、六年生では毛筆の取り上げ方がわかりやすいと感じた。〈表現〉姿勢や持ち方を写真入りで表現し、実写版のような印象を持ち、わかりやすく親しみやすい。〈構成〉筆の運びについて、比較的丁寧に解説する構成になっている。〈地域性〉特に地域性は無い。〈使用上の便宜〉三年生では点画シールを設け、シールを張りながら、楽しみながら学習ができるような工夫がある。

日本文教出版。〈内容〉児童が自己評価を通して、自己の学習活動を振り返る。〈表現〉字が大きくて、一年生の教科書は国語のドリルのような感じがした。書き順も細かく書かれていて扱いやすい。〈構成〉見えていて内容がわかりやすく構成されており、記入しやすい工夫があり、興味がわくような構成になっている。〈地域性〉特に地域性はない。〈使用上の便宜〉色がカラフルで飽きない編成になっているという感じを受けた。

全体に関する意見、三点でございます。一点目は、書写については、国語の教科書とリンクしているので、国語の教科書と同一発行者が望ましい。二点目は、基礎・基本を重視し、児童の主体的な学びを引き出す教科書がふさわしい。三点目は、教科書を使って学ぶことで、書写に関する技能が習得され、向上するような構成になっている教科書がよい。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「国語」、種目・「書写」についてご説明がありました。

ご審議をお願いいたします。

小林委員

この教科用図書選定調査会の調査研究報告書で、全体に関する意見のところを見ますと、「書写については、国語の教科書とリンクしているので、国語の教科書と同一発行者が望ましい」という指摘がされております。三省堂を見ますと、「やや色使いが少ないような印象をもった」という指摘もあるのですが、先ほど国語として三省堂が選定されておりますので、三省堂を推薦したいと思っております。

委員長

そのほかの委員、いかがでしょうか。

高田委員

三省堂でよろしいのではないのでしょうか。

委員長

では、教科・「国語」、種目・「国語」と同様に、教科・「国語」、種目・「書写」は、私も現場の意見が大切だと考えます。「書写については、国語の教科書とリンクしているので、国語の教科書と同一発行者が望ましい」ということで、三省堂を推薦させていただきます。

ほかに、この審議に意見ございますか。

(委員一同 ――― 意見なし)

委員長

なければ、四人の委員が賛成ということでもよろしいでしょうか。

それでは、教科「国語」、種目「書写」は三省堂の教科用図書を採択させていただきます。

(委員一同 ――― 異議なし)

委員長

ありがとうございます。

では、少しお待ちください。青山委員が戻ってまいります。審議に加わっていただきますので。

(青山委員入室)

委員長

では、これからお願いいたします。

教科・「社会」、種目・「社会」を審議・採択をいたします。

指導室長より「社会」について説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「社会」、種目・「社会」についてご説明いたします。

発行者は全部で五社でございます。

東京書籍。〈内容〉新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっており、地図を活用させる場面が多い。〈表現〉地図が大きく、写真等の資料が鮮明で見やすいものになっている。〈構成〉一単元の構成が、児童の自発的な問題解決を促すものとなっている。〈地域性〉六年生の歴史にて、「医学を支えた人々」として、腑分けの内容が具体的に記述されている。〈使用上の便宜〉学習場面に応じた「学び方コーナー」があり、系統的な学習技能を身につけることが可能な構成となっている。

教育出版。〈内容〉新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっており、児童の発達段階に則した内容量である。〈表現〉文字の大きさが見やすく、図や写真など、わかりやすく写真集でもなかなか見られないものが見られている。〈構成〉巻頭に学び方のガイドラインが掲載されており、各見開きのページには学習問題が明示されている。〈地域性〉六年生の歴史にて、「江戸の文化」の中で、腑分けの内容が適切に記述されている。〈使用上の便宜〉学びの姿や豊かな表情が見える活写写真を多く掲載することにより、学習への意欲づけを図っている。

光村図書出版。〈内容〉新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっている。文字量や資料が多く、読み解くにはそれなりの学力を要する。〈表現〉単元の始まりに学習問題があり、問題提起型の文章となっている。単元の終わりには、次時の予告が示されている。〈構成〉「話す」「読む」「聞

く「話す」といった言語活動に、実践的に取り組めるような構成となっている。〈地域性〉六年生の歴史にて、「江戸の文化」の中で、腑分けの内容が記述されている。〈使用上の便宜〉五・六年生は上下巻の区別なく一冊にまとめられている。

日本文教出版（小学社会）。〈内容〉新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっており、児童の発達段階に即した内容の量である。〈表現〉地図や写真が見やすく、文章による記述が発達段階に応じた、わかりやすいものになっている。〈構成〉「大きくジャンプ」として発展的な学習内容が示されており、学習の広がり期待できる。〈地域性〉九州の事例が多く取り上げられている。〈使用上の便宜〉児童が資料を通して考えたことをまとめたノート例を掲載することで、児童の思考・表現を促している。

日本教育出版（小学生の社会）。〈内容〉新学習指導要領の趣旨に基づいた内容となっており、児童の発達段階に即した内容の量である。〈表現〉文字、資料ともに見やすく、文章では道徳の時間とのつながりを意識した記述がうかがえる。〈構成〉一時間のタイトルを「なぜくでしょうか」のような児童に問いかける言葉遣いで示し、児童の問題意識を促している。〈地域性〉六年生の政治単元で、区政を学ぶ例として近隣の足立区が取り上げられている。〈使用上の便宜〉「学び方教室」では具体的な学習のまとめ方を示している。

全体に関する意見、三点でございます。第一点は、社会科では調べて考える力を養うという観点から、教科書で与える情報量は多過ぎないことが望ましい。二点目です。歴史学習においては、史実に正確でかつ適切な記述が望まれる。三点目は、資料として提示される写真には、教科書内で適切に説明されている必要がある。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「社会」、種目・「社会」についてご説明がございました。

ご審議をよろしくお願いいたします。

青山委員

私は、調査研究報告書の中にある全体に対する意見の三点というのは、このとおりで、非常に重要だと思えます。あえて加えて言うと、関東以外に傾斜していない教科書であることが必要かなと思えます。そうすると、東京書籍か教育出版か、この二点から選定されるのが望ましい。そういうふうにあります。

さらに言うと、この調査研究報告書の意見の中にある、二つ目の「史実に正確でかつ適切」という意味で、例えば、明治維新のところを比較して読んでみると、東京書籍、教育出版ともに、ほかの社のものに比べて的確かなと思えます。ほかの社には、例えば、大久保利通を坂本龍馬との関係で強くとらえ過ぎているのではないかというところもありますし、少なくとも、東京書籍は大久保利通を富国強兵・殖産興業の中心人物として正確にとらえているし、教育出版は明治維新の改革の中心人物としてとらえているという点で、いずれも的確ではないかと思えます。

あえてどちらかというところ、東京書籍のほうは難点がどうしても見つからなくて、教育出版のほうでは、例えば、六年上の百十五ページの移住のところ、ハワイとブラジルの非常にいいケースを取り扱っているのですけれども、そういう意味でいうと、カリフォルニア移民のほうはずっと早く、明治二年に……。この種のエピソードはたくさんあるので、なぜいきなりハワイ、ブラジルなのかなという点にはやや疑問を感じますけれども、どちらも的確ではないかと思えます。

委員長

ありがとうございます。

二つの推薦をいただいて、一つのほうがいいだろうというご意見をいただきました。いかがですか。

教育長、ご意見ございますか。

教育長

今まさに青山先生が指摘されたとおりです。新学習指導要領に基づいた、地図を活用している場面というのが、今回の学力調査におきましても、地図を見ながら総合的に判断しながらやる力が今すごく劣っていると思います。そういう意味で、地図を見ながらとか、そしていろいろな「学び方コーナー」の中で、系統的な学習技能を身につけるといって構成がすごく大切になってくると思います。こういういろいろな教科書には、もちろんすばらしいところがたくさんあるのですが、それでも、先生方の力量ももちろん関係してくるのです。その先生方が使いやすい教科書としては、今、青山先生が言われた、教育出版と東京書籍。その中で、東京書籍のほうが明治維新についても、史実が正しく、正確に記されていることについては、東京書籍でいいのではないかなという感じがいたします。

委員長

ありがとうございます。

小林委員

私も全体に関する意見から見て、東京書籍か教育出版がいいのではないかと思います。二社を比べさせていただき、総合的に判断すると、東京書籍のほうがいいかというふうに思っております。

ます。

その論拠なのですが、まず一点目は、問題解決学習を東京書籍のほうがちらかと重視しているというのが一点目でございます。それと、過去と現在とをつなげる工夫がされているというのが二点目でございます。三点目は、先ほど地図とあったのですが、地図だけではなくて、図を見て考えさせる工夫というのがされているという三点から、比較をすると、東京書籍のほうがいいかというふうに考えております。

委員長

ありがとうございます。

高田委員、ありますれば……。

高田委員

私も東京書籍がいいと思います。ただ、地図は関連するのですか。また別に考えるのですか。

教育長

別です。

委員長

私はサブセットというのでしょうか、一單元の中がきちっと構成されていることが非常に大切と考えます。一人一人の生徒が頭に入れて、そこから一つのことを展開し、問題を解決する、そういうところで東京書籍がいいと考えました。

先生方のご発言は、東京書籍が多いように思われるのですが、ここでほかに意見がなければ、挙手で採決していただくということになります。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

まず、東京書籍がいいと思われる委員の方、手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

五名全員です。では、これで東京書籍ということで良いですか。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

では、教科・「社会」、種目・「社会」につきましては、東京書籍ということに決定をいたしました。

次に移ります。

教科・「社会」、種目・「地図」を審議・採択いたします。

指導室長、「地図」についてご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「社会」、種目・「地図」、発行者二社について説明いたします。

東京書籍。(内容)学習指導要領の内容を記述しており、伝統と文化を尊重する視点の内容が充実している。(表現)都道府県の特徴を一文で示しており、五年生の学習内容を関連づけて具体的に学ぶことができるようになっていく。(構成)都道府県の拡大図が途切れることなく表示され、鳥瞰図や写真、図解等、多様な表現を用いて構成している。(地域性)荒川区で「有名なもの・さかななこと」として、都電が紹介されている。(使用上の便宜)どのページも横開きの紙面構成で統一し、利便性を高めている。索引部分は児童にとって扱いやすい。

帝国書院です。〈内容〉学習指導要領の内容を記述しており、年度の新しい資料が使用されている。〈表現〉全編を通して鮮明な色づかいを基本とした地図であり、土地利用の状況等が読み取りやすい。〈構成〉「地図のやくそくごと」「地図帳の使い方」を重視して、巻頭に配置している。〈地域性〉東京都の地図内に日暮里、尾久の原公園、汐入公園等が明確に示されている。〈使用上の便宜〉教員にとって指導しやすく、長期間の使用に耐えられる印刷・製本になっている。

全体に関する意見、三点でございます。第一点目、地図帳においては、調べ学習で活用する観点から、正確で適切な量の情報を掲載することが望ましい。二点目、地図帳に登場する子どもներիふは、地図を読み取れることを重視する観点から、余り多過ぎないほうが望ましい。三点目、都道府県名や都市名の文字の大きさ、土地の等高段彩の色調等、児童が見やすく発見しやすいものがよい。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「社会」、種目・「地図」につきましては、二社からのものがございます。東京書籍と帝国書院です。

どなたかご意見ございますでしょうか。

教育長

見やすいということが地図の基本的な観点になっていきます。そういう意味で、詳しく、見やすく構成されていること、先生方が指導しやすく構成されているということ、それから、地図の約束事とか地図帳の使い方方を重視し、そういう配慮をされているということ。調べることによつて

いろいろな面で物の考え方を深めていくということにとっては、帝国書院のほうがいいのではないかなという感じがしました。

委員長

青山委員、お願いします。

青山委員

この報告にあるように、地図の場合は、調べ学習への活用とか、児童が見やすい、これが非常に重要なポイントだと思います。そういったところから見比べると、帝国書院は荒川区の地域性という点から、汐入等を発見しやすいということがあると思いますので、全体から見たら帝国書院のほう望ましいと思います。

委員長

ありがとうございます。

小林委員、意見はございますか。

小林委員

東京都の教科書調査研究資料のほうを見せていただくと、帝国書院のほう地方別の地図の縮尺が百万分の一で統一されているというふうに指摘があります。確かに、見比べますと帝国書院のほうが見やすいということが言えますので、帝国書院を推薦したいというふうに思っております。

委員長

ありがとうございます。

高田委員、いかがですか。

高田委員

これからは子どもたちも世界に目を向けていかなければいけないだろうと思うのだけれども、帝国書院の地図は、日本の地図もさることながら、世界の地図が、アメリカ大陸だとか結構細かく書いてあって、興味をそえられるのではないのでしょうか。

以上です。

委員長

ありがとうございます。私も同感です。

全く別なことですけども、外国へ行きますと、日本の地図をひっくり返しているのです。逆なのです。そういうのがないかなと思って見ていたら、なかったですね。

私は両者を比べまして、帝国書院のほうがいいかと思いましたが、これに投票いたします。では、五人の委員の方たちから帝国書院というご推薦をいただきました。よろしいですか。帝国書院でよろしいと思う人は手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

満票でございます。

特に意見がないようであれば、次に、教科・「算数」、種目・「算数」の審議・採択に移ります。指導室長、「算数」についてご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「算数」、種目・「算数」についてご説明いたします。全部で六社ございます。

調査委員会では、本区が進めております習熟度別学習、問題解決的な、算数的な活動の楽しさ

といったものについてどうかというような協議内容がございました。あと、補充的な学習や問題量の協議がなされております。ご説明いたします。

東京書籍。〈内容〉学び方のページを設け、児童みずからが学びに向かえるような言葉かけの工夫がなされている。〈表現〉表現力の育成に有効なノートづくりを支援する「算数マイノートをつくろう」を単元の最後に設定している。〈構成〉五年生の資料を活用する学習で、ピーマンの収穫を取り上げており、生活に密着してわかりやすい。〈地域性〉北区・台東区という近隣の区の表現が何カ所がある。〈使用上の便宜〉実際の生活の中での様子をあらわす写真が多く、わかりやすい。

大日本図書です。〈内容〉書き込み式で問題解決型の流れに沿いやすい。〈表現〉表現力の育成をねらい、授業におけるノートのとり方の例示をしている。〈構成〉他教科との関連を考慮した構成になっている。〈地域性〉葛飾区、足立区という近隣の区の表現がある。〈使用上の便宜〉問題解決学習では、解き方を文で書き込むスペースが多く、問題解決学習の意図が明確である。

学校図書。〈内容〉計算のやり方をみずから考える単元を設定し、問題解決能力を確実に身につけるように工夫されている。〈表現〉算数では、抽象的な数式や図形だけでは理解できにくい面があり、生活場面に落とししているのでわかりやすい。〈構成〉大きな数の学習で人口を取り上げているところが、身近でよい。一年生の入門期の算数では、一番内容が濃い。〈地域性〉中学校の内容を取り上げた分冊は、小中一貫教育の視点から大切である。〈使用上の便宜〉分冊があり、中学入試を考えても有効であり、自分で挑戦する内容になっていてよい。

教育出版。〈内容〉低学年では、作業的・体験的な活動を重視し、活動を通して「問い」が生まれ、理解が深まるようにしている。〈表現〉話し合いや発表・ノートに書く活動を豊富に扱ってお

り、解説がわかりやすい。〈構成〉学びの三つのサイクルとして、「毎日の学習」「単元の学習」「家庭学習」の三つの段階を位置づける構成となっている。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉地域の歴史や文化の中に、算数を活用した事例があることを紹介している。

啓林館です。〈内容〉子どもたちが、日常生活との関連が深い二年生の時計はつまずきやすいが、時計の針に関する説明が少なく、わかりづらい。〈表現〉写真等が多く、四年生の大きい数（概数）の扱いでは、「野球場」の入場者数を取り上げるなど工夫が見られてよい。〈構成〉知識・技能の活用のページ「学びを生かそう」や「算数の自由研究」では、主体的な学びができるように構成されている。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉他教科との関連を考え、算数との関連づけを扱っている。

日本文教出版。〈内容〉問題解決型の学習がよりよく行われるように、「解決する」といった指導の充実を図っている。〈表現〉教科書に直接書き込むところが多く、復習や問題解決に役立つ。〈構成〉単元により、児童の多様な考え方を書き込めるような構成の工夫がある。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉大きいサイズは、ヒントや参照にするページが載っていてよいが、教科書が扱いづらいのではないか。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、問題解決学習なので、問題解決ではノート指導が大切である。教科書の中でノート指導について明示されているものがよい。二点目、一年生の教科書の表紙はインパクトがあるものがよい。三点目、問題解決型の学習では、自分たちで学べる構成がよい。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「算数」、種目・「算数」についてご説明がありました。

ご審議をお願いいたします。

青山委員

荒川区の実態から言うと、基本的に、練習問題の数がたくさんあるよりも、むしろバランス上はノートの使い方に重点が置かれているというのが、現場の実態に合っているのだらうと思います。そういう意味で言うと、東京都教育委員会の研究資料の八十九ページに、どこに重点を置いているかという各発行者別の数字の一覧表が出ていますけれども、領域別の分量ですとか、個に応じた問題の項目数ですとか、そういったことのバランスが比較的とれていて、練習問題よりも、この調査会報告書にあるノート指導に重点が置かれているといった教科書を選定するということが必要だろうと思います。

そういった意味で言うと、東京書籍、大日本図書、教育出版は、どちらかというところ、ノートのとり方の指導に重点を置いていますので、この中から選ばれるのが望ましいかなと思います。

委員長

ありがとうございます。

青山委員からは、東京書籍と大日本図書と教育出版の三つを推薦して、どれか検討しましょうというご意見をいただきました。それでよろしいですね。

青山委員

はい。

委員長

では、お願いいたします。

(委員一同 ―――― 意見なし)

委員長

算数は、やはり物の考え方の基礎をつくるということ、反復練習しないとだめだと思うのです。そういう点から、ノートを重点的にして、そして各単元を最後にきちっとまとめて、それをおさめてしまう、箱に入れてしまう、自分の頭のほうに、そんなふうなほうがいいと考え、僕は東京書籍がずばつといいと思ったのです。

青山委員

異議ありません。

委員長

教育長は。

教育長

私も、もちろん、ノートづくりを支援するというので東京書籍と思いましたが、荒川区のいろいろな実態を調べたときに、毎日の学習がほとんど定着していかないという状況で、「毎日の学習」「単元の学習」「家庭学習」という三つのパターンを定着していくという意味では、教育出版がいいのではないかなとは思いました。

高田委員

私も教育出版がいいというふうに思いました。

委員長

「毎日の学習」「単元の学習」「家庭学習」、三つを段階として位置づけていると評価するという

ことですね。

小林委員

私も、東京書籍が教育出版のどちらかがいいと思いました。ただ、今、世界の各国と比較しますと、日本は「算数が嫌い」という生徒の比率が非常に高いのですね。これが非常に問題になっています。東京書籍のほうはクイズ、パズルコーナーなどを取り入れて、数学に対して親しんでもらおうという工夫がなされているということから、東京書籍のほうがややいいかなと思われま

す。

委員長

そういうご意見をいただきました。他に発言はございませんか。

二人の委員の方が東京書籍で、教育出版も二人の方と受けとめました。では、改めて確認のため、採択いたします。東京書籍に賛成の人は手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

三人ですね。念のため、確認します。教育出版がいいという方は。

(賛成者挙手)

委員長

では、東京書籍が三人の委員、そして教育出版が二人の委員ということで、算数の採択は東京書籍ということに決定させていただきます。異議ございませんか。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

ありがとうございました。

では、教科・「理科」、種目・「理科」を審議・採択いたします。

指導室長、「理科」の説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「理科」、種目・「理科」についてご説明いたします。

全部で五社の発行者がございました。

調査会の中では、理科を子どもたちが好きになるように、興味・関心を持つようなきっかけとなるような資料等が充実されているかというふうな研究協議がございました。

ご説明いたします。

東京書籍。〈内容〉巻頭等で理科の学び方や問題解決の流れを図示している。「学びをつなごう」で既習内容を整理している。〈表現〉写真がきれいであり、児童が学習をしているときに引きつけられる。〈構成〉各単元の「調べよう」に単元の流れを明示している。基礎に関する内容を「しりよう」としてまとめている。〈地域性〉理科に関する本の紹介コーナーがあり、学校図書館の活用を図れる。〈使用上の便宜〉合冊であり、年間を通して単元の入れかえがしやすい。大判でつくられている。

大日本図書です。〈内容〉巻頭で理科の学び方や問題解決の流れを図示している。「やってみよう」で発展的な学習につなげている。〈表現〉科学者の写真が理科学習への関心を高める。図版や絵が多い。安全な実験のために注意事項をまとめて記述している。〈構成〉学びがサイクルなので、実際の授業の思考や学習と一致する。自由研究の進め方などがわかりやすく書かれている。〈地域性〉六年下巻、荒川区三河島水再生センターが紹介されている。スーパー堤防で川口が紹介され

ている。〈使用上の便宜〉四年生以上が上下の分冊であり、児童の持ち運びに負担がない。大判でつくられている。

学校図書。〈内容〉巻末に「考えよう、調べよう」があり、学習スキルをわかりやすく示している。指導の手助けとなる。〈表現〉教師の考えを押しつけるのではなく、児童に考えさせるような表現になっている。〈構成〉「見る、書く、発表する」があり、知識だけでなく、自分で調べて、それをまとめて書き、発表する力を身につけられる。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉合本になっていて、年間を通して入れかえがしやすい。大判でつくられている。

教育出版。〈内容〉各単元の章末にある「学んだことを使おう」は、習得した知識や技能を使って現象を説明することに有効である。〈表現〉胎児のイラストが実物大で表現されている。星座学習に工夫がある。安全な実験や観察のため、注意事項をまとめてある。〈構成〉資料・確かめ、科学の窓などが充実しており、学んだことや知識の整理がしやすい構成となっている。〈地域性〉オムラサキの写真がある。荒川の写真が使われている。〈使用上の便宜〉合冊であり、年間を通して単元の入れかえがしやすい。

啓林館。〈内容〉章末に、「力だめし」があり、理由を説明し、キーワードを使って記述することで、結果から考察する力が身につけられる。〈表現〉実験や観察では、必要に応じて、マークや赤文字を使って注意を促している。〈構成〉学習したことをまとめ、表現することに力が入れている。自由研究の進め方が充実していてわかりやすい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉合本になっていて、年間を通して入れかえがしやすい。

全体に関する意見が三点ございます。一点目、生命や環境とのかかわりを学ぶことが大切であり、教科書にこれらの内容がわかりやすく表記されていることが大切である。二点目、教科書の

版の大きさと合本について、写真の取り扱いと児童の使いよさの観点から考える。三点目、理科の入りは、三年生である。三年生の導入の紙面構成が児童の興味・関心を高めるものになっていることが大切である。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「理科」、種目・「理科」についてご説明がありました。

ご審議をお願いいたします。生命や環境とのかかわりを学ぶことが大切であると思います。ここがとぼ口ですので、よろしくお願いいたします。

青山委員

小学校の理科の場合は、例えば東京都の教育委員会は内容区分を「物質・エネルギー」「生命・地球」という分け方をしているわけですが、これらについての理科の基本については、もちろん検定を通っているわけですから、いずれの教科書にも難点はないと思います。今度は荒川の地域性だとか東京だとか、副次的だけれども、子どもたちが理科に入りやすい、そういう観点からチェックをした場合は、例えば教育出版の五年生の百一ページは、羽田とか臨海部の古い写真を使っているとか、啓林館の五年生の百四十ページは、多摩川や利根川は扱っているけれども、荒川は扱っていないとか。これはいずれも間違っているわけではないのですけれども、東京とか荒川とかという地域性からいうと、そういう難点がないほうがいいのではないかと思います。そういったところから、私が見た感じでは、そういう地域性から見て難点の見つからない東京書籍、大日本図書、学校図書の中から選定されるのが望ましいと思います。

委員長

ありがとうございます。

副次的なことから興味を持たず、そして大きく広げるといふ考え方の書かれている三社の教科用図書の推薦をいただきました。東京書籍と大日本図書と学校図書。このほかにご意見ございますか。この三つで論議してしまつてよろしいですか。

教育長

大日本図書の場合、学び方や問題解決の流れを図示している。今、荒川区で理科の学力が一番低いのは実験の問題なのです。実験をいかにやるか。先生方自身が実験に対して苦手であるということも課題ですけれども、その中で、これが一番いいのは、安全な実験のために注意事項がまとめてあるということ、先生方が読んでも、こうやってやれば子どもはけがをしないのだと、先生方も安心して授業できるのではないかと。そういう意味で、大日本図書。それから、もっと身近に感じる荒川区の三河島水再生センターとか、川口のスパー堤防が荒川区にいっぱいありますので、「あっ、うちの裏にもスパー堤防があるんだ」という形で、何か親しみやすさがあるのではないかなという感じがします。

以上です。

委員長

ありがとうございます。

ほかにご意見ございますか。

高田委員

私も大日本図書がいいと思います。

委員長

ありがとうございます。

小林委員

私も大日本図書がよろしいかと思えます。写真が非常にワイド判になっていてきれいというところが一点目としてあります。それと、四年生以上が上下の分冊になっていて、持ち運びも非常に便利というのがありますので、大日本図書がいいかというふうに思っています。

委員長

ありがとうございます。

理科は、実験、結果、考察が大切です。特に、考察は工夫で考えることですから、そういうことを一番うまく引き出すのが大日本図書だと私も考えました。くしくも全委員が大日本図書がいいのではないかと。レイアウトや写真がともきれいだということも含めて賛成しています。

そのほかにございますか。よろしいですか。

(委員一同 ———— 意見なし)

委員長

ご意見なければ採択に移ります。挙手をお願いします。

今、多くの方の意見は大日本図書でございました。大日本図書に賛成の人は手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

では、五票、全員でございます。ありがとうございます。

次に、教科・「生活」、種目・「生活」を審議・採択いたします。
指導室長、「生活」についてご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「生活」、種目・「生活」についてご説明いたします。

発行者が七社ございます。

東京書籍。〈内容〉一年生の初めに、文字が多く表現されている。活動前の話し合いや活動後の振り返りが充実している。〈表現〉約束事がアイコンで表示されている。作業や手順がわかりやすく表示されており、学習の助けになる。〈構成〉体験を発表する流れを大切にしている。学校生活に沿って単元が構成されており、わかりやすい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉「ポケットずかん」や「べんりてちょう」があり、学習を進めるときの資料として活用できる。

大日本図書です。〈内容〉学習に関する内容が豊富に入れられている。日常的で家庭に生きる内容である。理科的な要素が濃い。〈表現〉種のまき方や公園での遊び方など、詳しく書かれていて、学習の参考になる。文章表現が児童の実態に合っていない。〈構成〉地図を系統的に学習するように構成されているが、児童の学習の状況から考えると、難易度が高い内容が含まれている。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉学習道具有り、作業の仕方や資料として使える内容が充実してまとめられている。大判でつくられている。

学校図書。〈内容〉安全に関する記述が書かれている。扱う内容が限定されていると感じられる。〈表現〉子どもの思考に沿った投げかけがある。イラスト地図があり、写真の内容が充実している。〈構成〉五つの大単元ごとにまとめられ、単元として連続しているが、教科書の順に学習できない。原稿用紙のまとめが多い。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉学び方図鑑があり、生活

科を通して身につける基本的な内容が書かれている。大判でつくられていて見やすい。

教育出版です。〈内容〉「めもりんノート」が巻末にあり、学習内容のまとめに活用できる。エッセイに関する記述がある（リデュース・リユース）。〈表現〉まとめの表現が、一年生の児童にとつて難易度が高い。写真があるが、内容と十分に関連していない。〈構成〉観察したことを記録する内容になっている。次につながる投げかけが書かれている。〈地域性〉荒川区の生活圏に近い。都電の写真がある。〈使用上の便宜〉ぐんぐん学ぶポケットがあり、学習に有効である。他教科と関連する内容が含まれている。図書の紹介がある。

光村図書出版です。〈内容〉絵本的な表現である。シンプルな構成で、先生の力が問われる。子どもが学習を進めるための手助けとなる表現が少ない。〈表現〉ホップ・ステップ・ジャンプの三段構成で、活動内容がわかりやすい。カードの表記が児童の実態に即していない。〈構成〉子どもが見える構成になっている。単元ごとに配列されており、季節ごとのまとめりとらえることが難しい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉子どもがみずから学習するための資料が十分でない。内容が抽象的なのでさまざまな活動に対応できる。

啓林館です。〈内容〉内容が多い。カードへの記入の内容が多く、子どもの活動や気づきが書かれているので、子どもが考えにくい。〈表現〉イラストが多く、写真が少ない。話し合い活動をするための情報が書かれている。児童には難しい表現がある。〈構成〉学習したことを振り返る構成になっている。児童が直接書き込むことができるように構成を工夫している。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉出かけたときのマナーがあり、わかりやすい。「せいかつめいじんブック」が附属、活用できる。文字による説明が多い。

日本文教出版です。〈内容〉指導の内容順に並べられているが、取り扱う内容が少なく、発展性

が不十分である。エコに関する記述がある。(表現)写真がきれいである。写真の大きさが小さい。ページを折ることで、植物が成長する様子がわかる。点字がある。(構成)イメージを伝えるように構成している。児童がみずから学習を進めるためには、情報が少ない。(地域性)特になし。(使用上の便宜)教科の下部にマークをつけることで、各単元でどのような力を身につけるのかを示している。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、生活科の目標を達成するために、教科書が、自然や身近な人や社会に関心を持ったり、自分の成長に気づくことができるように構成されていることが大切である。二点目、教科書で使われている表現が、児童の実態に応じた表現であるという観点から比べる。三点目、資料の量や質が、児童が学習を進める上で適量かつ適切であることが必要である。

以上でございます。

委員長

ご説明ありがとうございます。

教科・「生活」、種目・「生活」についてのご説明でございました。

ご審議お願いいたします。ご発言お願いいたします。

青山委員

生活については、この報告にあるように、社会とのかかわりと自然とのかかわりと両方あると思います。そのうち、社会とのかかわりについて言いますと、荒川の場合は地域とのかかわりですとか、特に生活上の安全にかかわる問題、すなわち登下校だとか保健衛生だとか、そういうしたことに対する記述が多いという教科書を選定することが望ましいと思います。そういう意味では、

地域とのかかわりを取り上げた箇所数が最も多く、安全に関する内容を取り上げた箇所数が最も多いというので、東京書籍を推したいと思います。

委員長

ありがとうございます。東京書籍のご推薦をいただきました。

そのほか、先生方、ご意見ございますでしょうか。

高田委員

私は、荒川区の生活圏に近い、都電が出ているということもあって、教育出版がいいのではないかなというふうに思いました。

委員長

ありがとうございます。高田委員から教育出版がいいのではないだろうかというご発言をいただきました。

川寄委員、よろしいですか。

教育長

東京書籍と教育出版のどっちか迷っているのですけれども、教育出版については、エコに関する内容があつて、荒川区の生活圏に近いか、都電の写真があるとか、そういう意味では、生活の中で確かに親しみやすいのかなど。図書の紹介があるというのもいいなという感じがしました。

委員長

ありがとうございます。

小林委員

小林委員、ございますか。

教科用図書選定調査会の調査研究報告書を見せていただくのですが、これを見ますと、東京書籍が比較的難点は少ないので、東京書籍を推薦したく思っております。

委員長

わかりました。

では、私が発言します。

僕は、地域性と、作業や手順のわかりやすさについて注目いたしました。また、やはり生活ですから、体験を発表する流れを大切にすること。しつけというのでしょうか、荒川区の子どもたちにはこういうことも含めて、私が会った子どもたちはとてもいいのですけれども、教育現場のお話を聞きますといろいろです。以上から、東京書籍がベターかなと判断いたしました。教育出版と東京書籍のいずれも地域性についても十分書いてありますので、僕も迷ったのですけれども、明解な図と作業の手順がわかりやすいということでは私は判定しております。高野は東京書籍に手を挙げたいと思います。

ほかにご意見ございますか。

(委員一同 ――― 意見なし)

委員長

では、教科・「生活」、種目・「生活」につきまして採択をお願いいたします。

今、東京書籍と教育出版が挙がりました。まず、教育出版がいいと思う委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

委員長

二人でございます。

では、東京書籍、手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

三人ということです。

では、生活は東京書籍に決定いたしました。

次に、教科・「音楽」、種目・「音楽」、審議・採択をいたします。

指導室長、「音楽」についてご説明お願いいたします。

指導室長

教科・「音楽」、種目・「音楽」についてご説明いたします。

発行者は三社でございます。

東京書籍。(内容)リコーダーの指導はわかりやすい。民謡・和音等指導の順序性がある。写真に説明がない。(表現)キャラクターがアドバイスしていて興味を持って学習できるよう工夫されている。(構成)「君が代」が折り込みで掲載されているが、紙質が弱く消耗が心配である。(地域性)「夕やけこやけのとう」を荒川区の学校として写真とともに掲載している。(使用上の便宜)本のサイズが一回り小さいので、コンパクトで内容がまとまっているので指導しやすい。

教育出版です。(内容)音づくりが丁寧に書かれている。低学年では童歌が掲載され、巻末には難しい合唱があるが、なじみやすい。(表現)写真や絵など美しさを感じる表現で芸術教科にふさわしい。(構成)一年生の導入が工夫されている。今、活躍している著名な芸術家を掲載している。まとめて合唱曲を掲載し、わかりやすい。(地域性)特になし。(使用上の便宜)白地のページに

白いリコーダーの写真なので、どの指を使うか見にくい。

教育芸術社。〈内容〉オーケストラや作曲家について詳しく掲載されていてわかりやすい。〈表現〉音楽を視覚的にとらえるような図形楽譜は、子どもが理解しやすい表現で記述されている。〈構成〉見開きで曲目を掲載しているので学習しやすい。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉教科書が大きくて音符なども見やすい。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、発行者によって扱う内容に差があるが、荒川区の教員も資質を高めてほしいので、難易度の高い教科書を選んで挑戦してほしい。二点目、芸術教科なので、写真や挿絵等、視覚的にも美しさにこだわったものがよい。三点目、今現在活躍している身近な人物のメッセージなど、人の存在があるほうが子どもに訴えかける力がある。以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

教科・「音楽」、種目・「音楽」についての説明がございました。

ご審議をお願いいたします。ご自由に発言してください。

青山委員

調査研究報告書の意見の中に、「難易度の高い教科書を選んで挑戦してほしい」という、ある意味、感動的な意見が入っていると思います。私たちが学校行事等に参観させていただいて、荒川区の子どもたちの音楽のレベル、あるいはそれを指導するレベルというのは非常に高いというところでいつも感動していますので、この意見に対してはいろいろな評価があり得ると思いますけれども、選定調査会の委員の中には現場の関係者も多く含まれていて、そこから「難易度の高いも

のに挑戦してほしい」という意見が出た以上は、私どもとしても後に引けないのではないかと思いますので、教育出版を推したいと思えます。

委員長

ありがとうございます。教育出版のご推薦をいただきました。

そのほかの先生方、ご意見ございますでしょうか。

教育長

音づくりが丁寧に書かれていることと、わらべ歌が掲載されていることは、まさに日本の昔の文化をきちんと継承していくということが必要です。確かに、荒川区の合唱などのレベルはすごく高いです。そういう意味からいったら、この選定調査会にかかわった先生方の強い希望を、レベルアップのためにもぜひ採用していきたいと思えますので、教育出版がいいと思えます。

委員長

ありがとうございます。

小林委員

東京都教育委員会から出された教科書調査研究資料を拝見させていただきまして、百五十三ページですが、教材の数であるとか資料の数というのが教育出版が多いということでございます。やや難易度が高いのかなという思いもあるのですが、この調査報告書にもございますので、教育出版を推薦したいというふうに思っております。

委員長

教育出版の推薦をいただきました。

青山委員

資料の数というのは圧倒的に多いですね。

小林委員

そうですね。圧倒的に多いです。

高田委員

音楽は芸術教科なので、教育出版は、「音楽のおくりもの」という教科書の題からして——この「おくりもの」という言葉がいいですね。

委員長

あと、私が最後に。もう意見を言わなくてもいいですね。

調査会の意見を尊重いたしましたして、荒川区は音楽に対して非常にレベルが高いのですが、さらにもっと挑戦してほしいという現場からの意見もあります。そういうことで、私も教育出版に賛同いたします。

一応、採択いたします。

教科・「音楽」、種目・「音楽」についてご説明がありました。そして、意見交換があったと思います。採択いたしますので、挙手をお願いいたします。

教育出版でよろしいですか。

(賛成者挙手)

五票、全員教育出版でした。ほかに、意見はありませんね。なければ教科・「音楽」、種目「音楽」は教育出版に決定いたしました。

次に移ります。

教科・「図画工作」、種目・「図画工作」の審議・採択をお願いいたします。

まず、指導室長、「図画工作」についてご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「図画工作」、種目・「図画工作」についてご説明いたします。

発行者は三社です。

東京書籍。〈内容〉参考となる作品や写真が多い。生活科と関連した教材が多い。鑑賞では身近な材料をたくさん取り入れている。〈表現〉インデックスの目次は、低学年には使いにくい。単元名がわかりやすい。〈構成〉ぱらぱら漫画で授業中に遊んでしまう懸念がある。〈地域性〉デジタルカメラを使った作品例がある。コンピュータと電子黒板を活用した授業の参考となる。〈使用上の便宜〉二年で一冊となっているため使い勝手に課題があるかと思われる。

開隆堂出版です。〈内容〉理解度チェックがある。有名な作品や、さまざまな分野の人のメッセージがある。小さな美術館と活動が関連していない。〈表現〉タイトルの工夫がある。鑑賞と実技が関連している。〈構成〉子どもの写真が多い。見出しなどに、多くの色づかいがありわかりやすい。道具の使い方が詳しくまとめられている。〈地域性〉各地の伝統工芸について載せられているので、荒川区の伝統工芸との比較ができる。〈使用上の便宜〉各題材ごとに、持ち物のリストがあり、チェックしやすい。

日本文教出版です。〈内容〉児童が考えるページが多い。基本的な内容が押さえられている。文章が多くて読みづらい。〈表現〉文字が多い。低学年は呼びかけ調の表現、高学年では専門的な表現など、発達段階に応じて表現されている。〈構成〉一学年一冊、教科書がある。鑑賞では、身近な材料の見方がわかるものが少ない。〈地域性〉デジタルカメラを使った作品例がある。コンピュータと電子黒板を活用した授業の参考となる。〈使用上の便宜〉制作の手順が詳しく載っている。

文字が小さいので児童には見づらい。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、図画工作の授業においてどのような力をつけるかが明確な教科書がよい。二点目、図画工作の授業のねらいを達成することが大切である。三点目、参考作品はある程度の量があったほうが授業に活用しやすい。見出しの言葉により想像力をかき立てることができる。

なお、調査会では、本区は電子黒板が各学級に入っていることを皆さんよくご存じで、その点の協議も「地域性」の中に反映されているところであります。以上です。

委員長

ありがとうございます。

教科・「図画工作」、種目・「図画工作」についてご説明がありました。

ご審議をお願いいたします。

青山委員

それぞれに長所と短所があるわけですが、そこで学習指導要領に戻ると、この教科の目標というのは、他人の作品を鑑賞することと自己の表現活動とのかかわりにポイントがあるのだと思います。そういう意味では、開隆堂出版が鑑賞と実技との関連に特に強く意を用いているようなので、これを推したいと思います。

委員長

ありがとうございます。

では、順番にいいですか。

小林委員

まず、荒川区の教科用図書選定調査会調査研究報告書を見せていただきますと、それぞれに長所短所があるようなのですが、開隆堂出版は難点が少ないというか、問題が少ないようですので、開隆堂を推薦したいと思います。

委員長

ありがとうございます。

高田委員

僕も開隆堂を薦めたいです。伝統工芸のこともあるのですけれども、これも芸術の授業で、教科書そのものがわくわくするだとか、思いを込めてとか、想像性をいろいろかき立てるような教科書で、開隆堂出版のほうがいいのではないかというふうに思いました。

委員長

ありがとうございます。

調査会の報告書を見ますと、非常に気になることも幾つかあります。東京書籍の場合は、〈構成〉で、ぱらぱら漫画で授業で遊んでしまう懸念があるとか、ネガティブな話がたくさん……。日本文教出版も、文章が多くて読みづらいつとか、文字が小さいので児童に見づらいつとか、図画工作でそういうのは全く困りますので。要するに、こういうのは感性を養って美的なものをつくるということから、ネガティブなことがたくさん書かれておりますので、私は開隆堂出版がいいというふうに答えます。

ほかに意見はございますでしょうか。

教育長

一言だけ。

コンピュータや電子黒板を導入したので、問題点はいろいろあるけれども、電子黒板を使ったところを薦めておきたいと思っています。

委員長

まさにそのとおりです。

では、ほかにございませんか。

(委員一同 ―――― 意見なし)

委員長

なければ挙手で確認させていただきます。

教科・「図画工作」、種目・「図画工作」につきまして採択をいたします。
開隆堂出版の「図画工作」につきまして賛成の方は手を挙げてください。

(賛成者挙手)

委員長

開隆堂出版四人です。教育長さんは日本文教出版ですね。四対一となりました。

教育長

日本文教出版、一人です。

委員長

大きな理由はコンピュータや電子黒板への活用ですね。

教育長

はい、電子黒板での活用を評価しました。

委員長

ありがとうございます。

高田委員

ほかの教科書は電子黒板に対応していないのですか。そんなことはないのでしょうか？

教育長

多分、今から出てくると思います。

高田委員

出てきますよね。

指導室長

電子黒板がどの教科書にも使えるかどうかだけ、指導主事に話させてよろしいですか。

委員長

説明してください。

指導主事

電子黒板に直接ということではなくて、デジタルカメラのデジタル映像をとるというふうにとらえて各社とも使用ができます。それをどう使うかというのが、学校の先生が電子黒板に落とすのか、コンピュータ上に落とすのかということはあると思います。

教育長

それはソフトはできていないのですか。

指導主事

ソフトはまだです。デジタルカメラの使い方ということで表現させていただいています。

教育長

わかりました。

委員長

ありがとうございます。

今ご助言いただきました。改めてどっちがいいかを聞いたほうがいいと思うのです。「図画工作」につきましては開隆堂出版がよいという方はもう一度手を挙げてください。

（賛成者挙手）

委員長

はい、同じ結果で、四人の方が開隆堂出版とのこと、四対一ということになりました。では、採択の結果、開隆堂出版の書籍を採用ということになりました。

次に移ります。教科・「家庭」、種目・「家庭」を審議・採択いたします。

恐れ入ります。指導室長、「家庭」についてご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「家庭」、種目・「家庭」についてご説明いたします。

発行者は二社でございます。

東京書籍。〈内容〉食育に関する内容や調理の手順等がわかりやすい。「学習を始めよう」に記載されている単元の流れがわかりやすい。〈表現〉調理道具に関する説明やお茶の入れ方等詳しく表現されていて、わかりやすい。〈構成〉調理について、準備から調理作業、片づけの順できちんと書かれていて、丁寧なつくりである。〈地域性〉なし。〈使用上の便宜〉自己チェック表を活用することで授業への意欲を高められる工夫がされている。

開隆堂出版です。(内容)小物の例示が豊富である。環境に配慮した記述が多い。重ね着のデータなど科学的な資料が多い。(表現)裁縫の写真は、指使いのポイントまでわかりやすい。食品の分類表が見やすい。(構成)環境への配慮がある。料理の手順が詳しく見やすい。五年十項目、六年六項目と細かい配列でわかりやすい。(地域性)なし。(使用上の便宜)振り返りチェック表がよい。縫い物の表示がわかりやすい。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、ガスコンロは扱われているが、IHヒーターについての詳細な説明がなく、時代に合っていない印象がある。二点目、エコライフはよいが、残菜をそのまま畑に入れる記載は、実態と合わない。実生活と合った内容の教科書がよい。三点目、イラストや写真は、男女平等を基本とした役割分担で統一されていてよい。

この一点目のIHヒーターの件は、新しい汐入東小はIHヒーターで家庭科室がつけられていることで、こういったようなものが必要であろうという調査委員の方の意見を入れているものがございます。

以上です。

委員長

ありがとうございます。

教科・「家庭」、種目・「家庭」に関しましては、東京出版と開隆堂出版がございます。ご説明いただきましたので、ご意見の交換をお願いします。

やはり実生活に合った内容の教科書というのが必要ですね。そういう点から、東京書籍の(構成)が、調理について、準備から調理作業、片づけの順番できちっとした家庭での動きがきちっと丁寧につくられているので、私は東京書籍を推薦いたします。

小林委員、意見をお願いします。

小林委員

甲乙つけがたい、ともに非常にすぐれた教科書だというふうに思っております。ただ、比べますと、調理等の手順で見ますと、レイアウトが東京書籍のほうが見やすく、子どもたちが家庭に帰って自分でつくるという面でも参考になりますので、東京書籍のほうを推薦したいと思います。

委員長

ありがとうございます。

高田委員

僕も、東京書籍のは、家庭と直結していて、教科書そのものが非常にわかりやすいなと思います。

委員長

そうですね。

青山委員

「家庭」の科目では、食育もさることながら、これを扱うなら、消費者教育についてもどう記述されているかということが問題になるのだと思います。すなわち、経済や社会のグローバル化が進んでいくと、社会の成熟段階に従って消費者の権利を一般法で充実させていくというのが、欧米にしてもおおむね共通の傾向で、日本でも、二十一世紀に入ってから消費者一般法というのがいろいろできてきたわけです。そこまで教えなくてもいいのですけれども、その立場を、二十世紀的な消費者教育と二十一世紀的な消費者教育と違うので、そこら辺が小学校の課程の中でもある程度出ているということが必要なもので、そういった意味からいうと、東京書籍は小学校とい

う段階の割には充実しているかなと思います。

委員長

わかりました。

ほかにご意見ございますでしょうか。

(委員一同 ―――― 意見なし)

委員長

教科・「家庭」、種目・「家庭」につきましては、東京書籍と開隆堂出版でございますが、五委員とも東京書籍を推薦していただきました。

挙手で確認をいたします。東京書籍がよいと思う方、挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

委員長

では、五人全員の賛成がありましたので、東京書籍を採択いたします。「家庭」を終わります。続いて、教科・「体育」、種目「保健」の審議・採択をいたしますので、ご説明をお願いいたします。

指導室長

教科・「体育」、種目・「保健」、全部で五社ございます。ご説明いたします。

なお、保健の教科につきましては、三年生から五・六年生ということ、一・二年生を除いて使うということであり、ご説明いたします。

東京書籍。(内容)コンパクトにまとまっておりますが、男子の身体の変化と生命の誕生とが関連づけられていない。(表現)悩んだときはホームページを調べて連絡する方法を紹介する

など、心の問題を解決することにならない手段を示している。〈構成〉考えてみようとする単元が多い。書き込みができ、日常生活に生かせる構成となっている。〈地域性〉なし。〈使用上の便宜〉「考えてみよう」「話し合ってみよう」などのマークが多く、学習の展開がわかりやすい。

大日本図書。〈内容〉記述が多く児童が考える形になっていない。グラフ等の資料が少ない。〈表現〉「楽しい保健」という教科用図書の題名の意味がわかりにくい。「ミニちしき」に大切なことがわかりやすく書かれている。〈構成〉単元ごとにわかりやすく示しているが、悪くなった臓器の表示が不鮮明である。〈地域性〉特になし。〈使用上の便宜〉単元の初めに、迷路、クロスワードといった遊びの要素を取り入れ、児童の興味を高めようと工夫している。

文教社です。〈内容〉内容がすっきりしていてわかりやすいが、学習の幅を広げる項目がもう少し欲しい。〈表現〉アスリートからのメッセージは、児童に夢を持たせる内容となっている。絵がよい。〈構成〉エイズに関する指導から、不安や差別を意識させるようにとらえられる危険性がある。〈地域性〉なし。〈使用上の便宜〉学習内容や資料に小見出しがつけられていて、学習の観点がわかりやすい。

光文書院。〈内容〉鳥インフルエンザ、エイズ等現代の社会的事象を扱っている。「早寝・早起き、朝ごはん」を指導している。〈表現〉「みんな悩んで大きくなった」などの表現が児童にわかりやすい。見出しやタイトルがわかりやすい。〈構成〉心の問題を丁寧に扱っている。資料的側面があり、参考になる単元が多い。〈地域性〉なし。〈使用上の便宜〉課題解決のための資料が多く、児童の意欲を高められるようになっていく。

学研教育みらい。〈内容〉エイズ等現代の社会問題を考えさせる構成となっており、病気をみずから防ごうとする考えを育て、工夫がある。〈表現〉調べ学習に役立つ情報やホームページ等が充

実している。課題解決に役立つグラフや写真が多くあり、わかりやすい。〈構成〉学年ごとに指導内容を明確に分けており、使いやすい反面、ドリルの側面がある。〈地域性〉なし。〈使用上の便宜〉各単元の初めのページに「ここで学ぶこと」という項目があり、学習課題が大きく書かれている。

全体に関する意見、三点でございます。一点目、正確な知識を得ることを授業の基本とすべきであり、正確な知識を多く学べる教科書がよい。二点目、心の悩みの解決方法として、児童がみずから解決する力を身につけることのできる教科書がよい。三点目、薬物乱用など、小学生のうちからしっかり学ばせたい事項を押さえている教科書がよい。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

これも大切なことで、子どもたちをいかに成長させるかという保健についてのことでございます。教科・「体育」、種目・「保健」についての説明がありました。

ご審議をよろしくお願いいたします。

川寄先生、いかがですか。

教育長

私は、光文書院が……。今年たくさんの子どもがインフルエンザにかかって、学級閉鎖を行ったり、学校閉鎖を行ったり、そういう中で「早寝・早起、朝ごはん」は、まさに荒川区で一番推進しなければいけない事項です。それから、荒川区内で年間五十人の方が自殺しているという状況なども含めて、心の問題を丁寧に扱っている。そして、見出しやタイトルがわかりやすいと

いうことでいいのではないかなという感じがしました。

委員長

ありがとうございます。

ほかにご意見ございますか。

高田委員

私も光文書院のこの辺が……。始まったときから、「健康ってすばらしい」というそのタイトルから、健康のことを扱って、これはとてもすばらしいですね。光文書院がいいと思います。

委員長

よろしいですか。

青山委員

私も光文書院は非常にいいと思うのですが、学研教育みらいも、課題学習型に努めておられます。「保健」については児童が興味を持つ話題も多いし、持ってほしいテーマも多いので、調べ学習を促進するという意味からいうと、調べ学習のための学校図書館を全国一充実した荒川区としては、こういう教科書もあっていいのかなと思います。

教育長

確かに、学研のほうはちゃんと家庭学習が入っているのです。こっちは家庭学習が入っていない、授業も自由になっているから。

委員長

では、小林委員。今、学研教育みらいと光文書院、両方入っています。

小林委員

この教科用図書選定調査会の調査研究報告を見せていただきますと、上の三社はやや難点があるという指摘だと思うのですね。そうすると、光文書院か学研教育みらいという二社が残るのかなというふうに思っております。それで、この二社を比較いたしますと、学研教育みらいがいいのかなという気がいたしました。

それは、学研教育みらいのほうが、一人一人が自分の健康問題を考えて主体的に取り組むというか、そういった姿勢が見てとれるということが第一点目でございます。二点目は、写真やイラストが、どちらかというと難点が少ないということから学研を推薦したいというふうに思っております。

委員長

僕は、一番下の「使用上の便宜」というところが……。ここで学んで、そして何を課題とするかということが大切ですね。教育にははじめというか、サブセット的なことを展開させるということが基本にありますので。それから、光文書院も、インフルエンザの話、エイズの話も出ておりますけれども、学研教育みらいのほうにも出ております。みずから病気を防ごうという心の養成が保健の本質だと思います。健康を保とうということですよ。一つ一つの図書の中には共通精神があると思いますけれども、私は、この最後の「使用上の便宜」というところで学研教育みらいを推薦いたします。

いいですか。

（委員一同　———　意見なし）

高田委員

私も学研のほうがいいなと思っていましたのです。

委員長

教科・「体育」、種目・「保健」ですが、今、光文書院が二人の委員の方、そして学研教育みらいが三人ということでもあります。多数決では学研教育みらいということになりますが、この採択でよろしいですか。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

では、二十三年度使用荒川区立小学校教科用図書選定調査委員会の八人の先生方にお礼を言いたいと存じます。つつがなく進みました。確認させていただきたく思います。

皆さん、お手元の議案を見てくださるといいと思います。九教科十一種目の採択が終了いたしました。改めて確認させていただきます。

教育総務課長

ただいまの審議の中で採択をいただきました図書を、教科・種目別に読み上げさせていただきますので、ご確認をいただければと思います。

初めに、「国語」、種目・「国語」でございます。三省堂でございました。

二番目に、「国語」、種目・「書写」でございますが、同じく三省堂でございます。

三番目に、「社会」、種目・「社会」でございますが、東京書籍でございます。

四番目に、「社会」、種目・「地図」でございますが、帝国書院でございました。

五番目に、「算数」、種目・「算数」でございますが、東京書籍でございました。

六番目に、「理科」、種目・「理科」でございますが、大日本図書でございました。

七番目に、「生活」、種目・「生活」でございますが、東京書籍でございました。

八番目に、「音楽」、種目・「音楽」でございますが、教育出版でございます。九番目に、「図画工作」、種目・「図画工作」でございますが、開隆堂出版でございます。十番目に、「家庭」、種目・「家庭」でございますが、東京書籍でございます。十一番目に、「体育」、種目・「保健」でございますが、学研教育みらいということでございます。

以上でございます。

委員長

ありがとうございます。

採択結果は以上のおりでございました。ここに携わりました関係者の皆様、まことにありがとうございます。

この採択結果につきまして、本委員会の終了後に公開いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、議案第二十九号「平成二十三年度から使用する小学校教科用図書の採択について」は、審議が終了いたしました。ありがとうございます。

続きまして、議案第三十号「平成二十三年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について」を議題といたします。

事務局より議案の説明をお願いいたします。

指導室長

平成二十三年度に特別支援学級の固定学級において使用する教科書の採択に当たり、これまでの調査経過、結果についてご報告を申し上げます。

小・中学校の特別支援学級で特別な教育課程を編成する場合は、学校教育法附則第九条同法施行規則第一百三十九条の規定により、教科により当該学年用の文部科学省検定済み教科書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより他の適切な教科書を使用することができるとなっております。従来、この学校教育法附則第九条は、学校教育法第一百七十条ということで、平成二十年まで「百七条図書」というような名称を使っておりました。平成二十年四月一日より、附則第九条へ法律が移行しているということでご説明申し上げます。

特別支援学級で使用する教科書は「一般図書」と呼ばれておりましたが、本日、机上に参考として、すべてではありませんが、幾つか置いてあります。本区の各小・中学校の特別支援学級で実際に使っております実物でございます。各学校が調査研究を行う場合には、東京都教育委員会が作成しました特別支援教育教科書調査研究資料というものがありますが、それを参考にしており、各学校から提出されました調査研究結果を教育委員会で確認しましたところ、すべてこの調査研究資料にある図書から選択されているところであり、本日配付させていただきました「平成二十三年度荒川区立学校特別支援学級で使用する一般図書の調査のまとめ」に集約してございます。

小学校の一般図書と中学校の一般図書ですが、採択された図書のリストの中から、各学校において一人一人の児童・生徒の状況に応じ使用するものを選択することとなります。したがって、この資料でお示ししました図書がすべて採択されずと、各学校に在籍する児童・生徒一人一人に合ったものを採択することが可能ということになります。ご審議のほど、どうぞよろしく
お願いいたします。

委員長

ありがとうございます。

これが全体の資料になりますか。

指導室長

そうです。

委員長

それから、手元に教科書がございます。ご意見ございますでしょうか。

教育長

特別支援学級に入ってくるのはいろいろな子どもがいます。A D H Dとか、学習障害とか、そういういろいろな障害に応じて、その子に適した、能力・適性に応じたものを選びましたので、幅広いものがあると思います。中には、通常学級が使用する教科書を使う場合もありますし、こういう教科書を使う場合もありますので、私はこれで結構だと思っています。

青山委員

現場でそれぞれの子に適した教科書を使うということ、ここでそれぞれを採択していくというのがいいと思います。

委員長

ありがとうございます。

ほかの先生方は。

高田委員

同じです。

小林委員

私もそれで結構です。

委員長

全員同じ意見です。

では、原案どおり採択することにいたしますが、異議ございませんか。

(委員一同 ―――― 異議なし)

委員長

異議なしとの声でございますので、異議ないものと認めます。

議案第三十号「平成二十三年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について」は、原案どおり採択することに決定いたしました。ありがとうございます。

本日予定いたしました案件は以上でございます。

その他の事項、教育委員会事務局より何かございませんでしょうか。

教育総務課長

では、私のほうから、お手元に配付させていただいております資料のご説明を差し上げたいと思います。

一点は、平成二十二年度教育委員会の日程ということで日程表をご用意させていただいています。これまでのご協議の中で日程の変更をさせていただいたものがございますので、確認をさせていただきたいと思えます。八月十三日、次回の教育委員会でございますけれども、休会ということでご決定をいただいているところがございます。

それから二点目といたしましては、九月二十四日金曜日に定例会を予定していたところがございますけれども、こちらにつきましては十七日の金曜日に、日程を一週間前倒しということにさ

せていただきました。会場につきましても、こちら特別会議室ではなくて庁議室ということになりましたので、どうぞよろしくお願いをいたします。

三点目は、十月二十二日の金曜日でございますけれども、開会時間を、恒例の一時三十分から二時半からということ、一時間ほどおくらせていただきました。また、会場につきましても、区役所のこの特別会議室から教育センター内の会議室ということに変更させていただきましたので、ご留意いただきますようお願いいたします。

日程変更は以上でございますが、お手元にふるさと文化館で夏に予定しております事業・イベントのチラシを二つご用意させていただきました。一つは、「あらかわの遺跡展」、もう一点は、「夏休み子ども博物館」と称しました連続イベントのご案内でございます。また、私どもが十月開校を予定しております荒川コミュニティカレッジの入学案内ができましたので、お手元に配付させていただきました。現在、受講生の募集に入っているところでございます。後ほどご確認をいただければと思っております。

私ども事務局からは以上でございます。ありがとうございます。

委員長

ありがとうございます。

今日は、佐藤さんのほうから説明はないのですか。

社会教育課長

それでは、あらかわの遺跡展でございますが、今回、文化館のほうでありました日暮里・延命院貝塚ですとか、町屋四丁目の実揚遺跡等の保管庫にあります、今まで出していない埋蔵物を出すということでございますので、時間があつたらおいだければと考えてございます。

また、夏休み子ども博物館につきましては、また、例年と同じような形で、「勾玉づくりに挑戦！」ですとか、「あらかわ職人道場」という形で実施してまいりたいと思っております。

また、コミュニティカレッジでございますが、七月二十一日の区報で募集のご案内をさせていただいております。今、数名の方が応募してきてございますので、何とか十月開校に向けて準備を進めていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

委員長

ありがとうございます。

以上、事務局のお話も終わりました。何かほかにございますでしょうか。

八月十三日は休会で、八月二十七日までありません。よろしいですか。

では、これもちまして、教育委員会第十四回定例会を閉会いたします。

荒川区の子どもたちにふさわしい教科書を選択していただきまして、さらに、何とか算数と理科の向上を目指して、委員の先生方、教科書の採択をしていただきたいと思います。ぜひ良い授業を行ってもらって、確かな学力が身につけてくれることを期待しています。

教育長

早急にやらないといけないので。

委員長

上級生も余り成績がよくなかったものですから。少し時間がかかるかもしれないけれども、それを期待しております。教科書選択に、十分熟読していただいて多くの時間を費やしていただきまして、先生方、関係者の皆様、ありがとうございます。

では、これで終わります。ありがとうございました。

|
|
了
|
|